

第2次調査の概要

どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲

いつ（調査期間）

昭和60(1985)年7月2日～21日

だれが（調査した人）

三浦市教育委員会

調査概要

所在地 神奈川県三浦市初声町三戸字ハタ231番1外
調査面積 70㎡
調査原因 商業用店舗建設に伴う調査
主な遺構 住居址5軒・溝状遺構3条
主な遺物 縄文土器片・弥生土器片・小型壺形土器
特記事項 宮ノ台・久ヶ原式の弥生中・後期の土器にまじり縄文早期の土器が出土している。唯一完形で出土した壺形土器は弥生後期後半のものと考えられる。検出された住居址や溝は出土した土器から中期から後期にかけての遺構と思われる。(参考文献：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第3集』・1994年8月)



住居址より検出された壺形土器の写真
(所蔵：三浦市教育委員会)



検出された住居址の全景写真
(所蔵：三浦市教育委員会)